



株主通信 第60期

上半期報告書 2023年4月1日～2023年9月30日

Contents

Top Message	1	株主様とのコミュニケーション	7
上半期決算ハイライト	3	J B グループの情報発信	9
中期経営計画「HARMONIZE 2023」進捗状況	4	J B グループのサステナビリティ	11
HARMONIZE Topics	5	人財育成への取り組み	13
HARMONIZE お客様事例	6		

JBCC
holdings

JBCCホールディングス株式会社

証券コード:9889 (東証プライム市場 情報・通信業)

Top Message

株主の皆様へ

注力事業が着実に伸長し、増収増益となりました。 グループが一丸となり、継続成長を実現してまいります。

株主の皆様、いつも当社をご支援いただきありがとうございます。

第60期上半期(2023年4月1日～2023年9月30日)の業績は、注力事業であるクラウド、セキュリティ、超高速開発が伸長し、売上高は32,971百万円(前年同期比14.1%増)、営業利益は2,282百万円(前年同期比11.4%増)となりました。今期を最終年度とする中期経営計画「HARMONIZE 2023」で推進してきた事業構造変革が着実に進捗し、成果を出しています。とりわけクラウド、セキュリティのストックビジネスの成長が業績を押し上げ、今期も最高益を更新する見通しです。

このような業績とビジネスの状況を踏まえ、通期の業績予想および期末配当予想を上方修正いたしました。また、

株主の皆様への一層の利益還元の観点から、自己株式の市場買付(上限:1,000百万円、40万株)を実施しております。

今、生活のあらゆる場面でデジタル化が進んでいますが、そこにはクラウドの技術が多く利用されています。私たちは、お客様の様々なIT環境や要望にお応えできるよう、マルチクラウドに対応したクラウドとセキュリティのサービスやソリューションを整えてきました。お客様のクラウドの利用状況を定期的に確認し、リソースの見直しとスリム化を図りながら、お客様にとって常に最適なクラウド環境を適正なコストで運用可能にするクラウド運用サービスを中心に、セキュリティを含めたクラウドの全体提案をご評価いただいております。

常に時代を読み、先んじて挑戦する。技術を磨き、お客様にとって価値あるものを創り出す。その取り組みの積み重ねが実績と自信となり、“私たちならではの”の提案につながっていると感じています。

今年2月に本社を八重洲に移転して、1年が経とうとしています。お客様やパートナー様、株主様など、日頃私たちを支えてくださっている多くのステークホルダーの皆様には八重洲オフィスにお越しいただきました。私たちの働き方をご覧ください、変革や挑戦を感じるという嬉しいお言葉もいただいております。今後も継続した成長ができるよう、グループが一丸となり、邁進してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

代表取締役社長

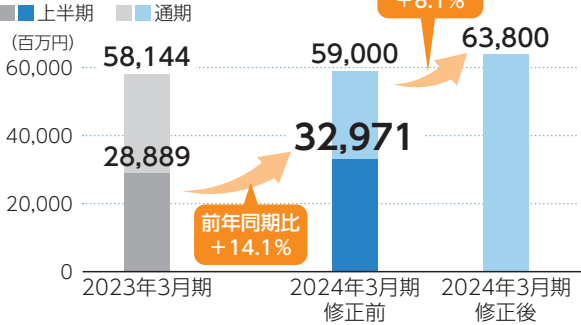
東上 征司



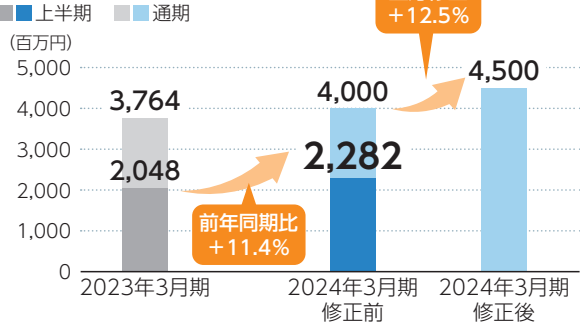
POINT

- 注力事業のクラウド、セキュリティ、超高速開発が着実に伸長。システム(ハードウェア関連)も貢献し、売上高・利益ともに前年同期比で二桁成長。
- 継続成長を支えるクラウド、セキュリティのストックビジネスが大幅成長。
※クラウド新規受注高 (前年同期比+73.6%)、セキュリティ新規受注高 (同+44.7%)
- 中期経営計画で推進する事業構造改革が着実に進捗。業績および期末配当予想を上方修正。
期末配当予想は14円増配し54円に (年間配当金94円)。

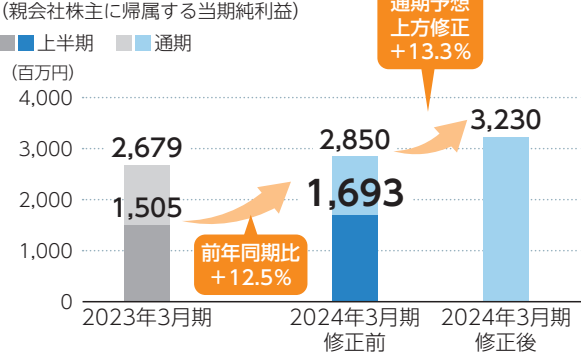
売上高



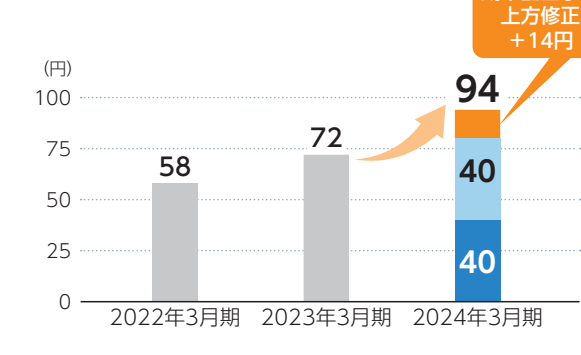
営業利益



当期純利益



1株当たり配当金



中期経営計画「HARMONIZE 2023」では、企業のDXを実現するトータルITサービス「HARMONIZE」を推進することで、ストックビジネスの比率を高め、安定した収益と継続的成長を実現する事業構造へと変革を進めています。「HARMONIZE」の中心的ソリューションであるクラウド、セキュリティ、超高速開発が前年同期比で大きく伸長しました。

		2023年3月期 上半期	2024年3月期 上半期	対前年 同期比	2024年3月期目標 (中期経営計画最終目標)
超高速開発	SI全体に占める 超高速開発比率	61.8%	59.9%	-1.9pt	比率 70%
	売上高	3,613百万円	3,927百万円	+8.7%	
	受注高	4,623百万円	4,115百万円	-11.0%	
クラウド	売上高*	2,250百万円	3,292百万円	+46.3%	CAGR 46%
	新規受注高*	75百万円/月	130百万円/月	+73.6%	
セキュリティ	売上高*	1,756百万円	2,537百万円	+44.4%	CAGR 42%
	新規受注高*	65百万円/月	94百万円/月	+44.7%	
クラウドデータ連携	累計契約本数	1,279本	3,562本	+178.5%	10,000本

※クラウドおよびセキュリティの売上高・新規受注高はストック

主な経営指標

	売上高総利益率	売上高営業利益率	1株当たり当期純利益	1株当たり純資産	ROE
2024年3月期上半期	29.5%	6.9%	107.50円	1,337.15円	8.3%
2023年3月期上半期	30.9%	7.1%	96.07円	1,213.97円	8.1%



2024年3月期 中間決算説明会 (2023年10月31日実施) の内容は、書き起こし記事、および動画でご覧いただけます。



ログミーファイナンス (書き起こしメディア)
QRコードもしくは、URLよりご覧ください。
<https://finance.logmi.jp/companies/3954>

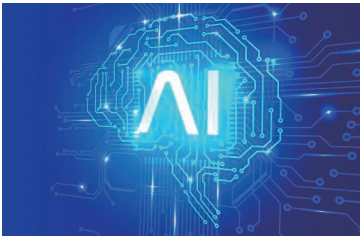


企業のクラウド活用を促進

AI/データ活用の要望に応える新たなサービスを拡充・提供

テレワークの浸透や働き方の多様化に伴い、企業においては**クラウドファースト**（IT環境やシステム刷新を検討する際、クラウドを最優先とする考え方・方針）が一層進んでいます。国内のクラウド市場は、今後5年で2倍以上の成長が予測される等、引き続きクラウドビジネスの着実な成長が期待されています。

「HARMONIZE」は、お客様の様々な要望にきめ細かく対応できるよう、**マルチクラウドに対応**したクラウドとセキュリティのサービスを提供しています。近年は、ChatGPTに代表される生成系AIの登場により、企業においても蓄積した**データの分析・活用**や**AI利用**への関心が高まっています。上半期には、MicrosoftやGoogleのマルチクラウド環境に対応し、企業の**データ活用の基盤**を短期間で構築・支援するサービス（Qanat Universe for Azure*/GCP）を提供開始しました。



中核事業会社であるJ B C C 株式会社は、クラウド活用を支援する総合的な取り組みが評価され、Microsoft Japan Partner of the Year 2023において、Microsoft Azure関連のアワードを3年連続で受賞しました。（2023年7月）

* Microsoft社が提供するクラウドプラットフォーム

江ノ島電鉄株式会社 様

将来のAI/データ活用を目指し、クラウドシステム基盤を構築

湘南・鎌倉エリアにおいて鉄道・バス、観光、不動産など、地域に密着した事業を展開される江ノ島電鉄株式会社様。地域のシンボルとも言える江ノ島を活用し、新たな収入源を生む新規事業の創出や喫緊の課題でもあるオーバーツーリズムへの対策など、さらなる発展に向け、組織と人財がデータに基づいて役割を最大限に発揮できるシステムの構築をお考えでした。

J B C C は、Microsoft Azureの便利な機能や最新技術を組み合わせ、全社員がスムーズに業務の情報共有ができるシステム基盤を構築しました。社会インフラを担う同社にとって、最優先で考慮すべきセキュリティを担保しながら、生成AI等の先進技術を活用した業務改革や、日々蓄積する大量データをAIで分析・活用していく土台を築き、お客様のDX実現をご支援しています。





Voice

お客様の挑戦にITのエキスパートとして伴走したい

江ノ島電鉄様のDXにおいて、一番の課題だったセキュリティはもちろん、新システムを創造の原資とするために、私たちができること、すべきことを社内の技術者を交えて徹底的に考えてきました。DXの未来図をともに描きながらこれからもご支援していきたいです。

J B C C 株式会社
営業 第三事業部
まえばし ゆうたろう
前橋 雄太郎 さん

“一番欲しい”を最速で



HARMONIZE
by JB Group

1/2*の期間で基幹システムができる超高速開発と、3か月で構築する最強フルクラウドで、お客様がやりたいこと、実現したいことをどこよりも早く実現します。

HARMONIZEが提供する10のソリューションとサービス

ビジネスモデル 変革支援

お客様の
ビジネスモデル変革を
一貫してご支援

バリュークリエイト
サービス

共創サービス

業務変革ソリューション

お客様の業務変革を、
最適なソリューションで
スピード実現

超高速開発

SaaS

デジタル業務
ソリューション

クラウド連携
ソリューション

プラットフォーム 変革ソリューション

お客様の
インフラ変革を、
最適コストで
おまかせ構築

IaaS

セキュリティ

コラボレーション サービス

お客様との
統一窓口で、
役立つ情報をご提供

ポータルサービス

コミュニティ

* 2014年～2020年に実施した大型基幹システム（開発期間10か月以上）の他社見積もり期間との比較平均値

八重洲オフィス見学会実施

株主様との直接のコミュニケーションを目的とした「八重洲オフィス見学会」を実施しました。

当日は、JBグループの取り組みをご紹介するとともに、社員がいきいきと働く新オフィスをご覧いただく見学ツアーをご案内し、参加の皆様からは、当社の事業に関するご質問やこれから当社に期待することなど、様々なご意見をいただきました。

今後も継続し、当社をご理解いただける機会を増やしてまいります。

開催概要

開催日：2023年9月15日

場所：JBグループ八重洲オフィス
東京都中央区八重洲2-2-1
東京ミッドタウン八重洲
八重洲セントラルタワー13階

当日アジェンダ

- ・JBグループの取り組み（事業／人財／サステナビリティ）
- ・オフィスのご紹介&見学ツアー



株主様Webアンケート結果のご報告

前回発行の「第59期 株主通信」でご案内したアンケートでは、568名の株主の皆様からご回答いただきました。皆様のご協力に感謝を申し上げますとともに、いただいた貴重なご意見を参考に今後のIR活動に活かしてまいります。

アンケート概要

実施期間：2023年6月21日～7月21日

回答者数：568名

回答方法：Webによる回答

*環境への配慮から、はがきによる回答を廃止し、Web回答のみとさせていただきます。

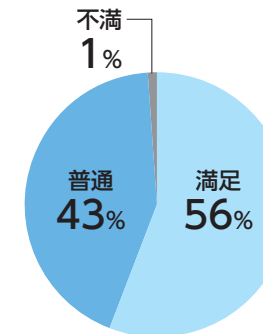


株主通信について

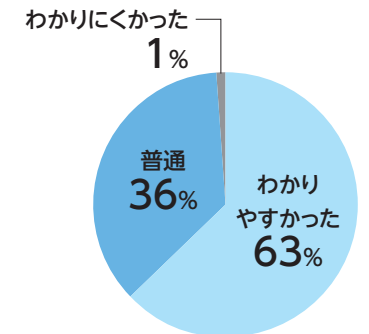
コメントからは、「**決算ハイライトが分かりやすく経営状態が一目で理解できる**」「**会社の明るいイメージが伝わってきて良かった**」、「**お客様事例を充実して欲しい**」など励ましの声やご意見・ご要望など、多くの声をいただきました。

今後もわかりやすく、当社をご理解いただけるよう、株主通信の充実を図ってまいります。

満足度



わかりやすさ



当社では、「決算説明会」や「株主総会」などの動画配信をはじめ、ソーシャルメディアを活用し、様々な情報を発信をしています。ぜひフォローやいいね!をお願いします。

動画配信

<https://www.jbcchd.co.jp/ir/library/movie/>



JBグループソーシャルメディア一覧

<https://www.jbcchd.co.jp/itservice/webmedia/>



参加された皆様からの声（抜粋）



クラウドが強みなのがわかりました



利益率の向上、売上アップを期待します



DXを推進していくことは、今後の社会に必須。その中で大きな役割を果たしていただくことを期待します



このような株主イベントは会社への理解が一気に深まります



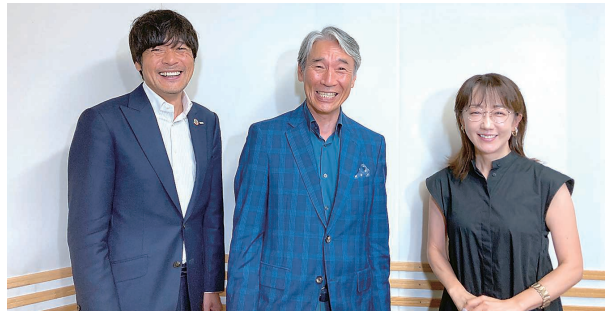
新しいオフィスは、理想的な別世界でした

認知度向上に向け、様々なメディアを通じて、当社の魅力をご紹介します。

ラジオ番組に出演 (8/14)

当社社長の東上が、唐橋ユミさんがパーソナリティを務めるラジオ番組「木田裕士・唐橋ユミ ジパンクの黄金」に出演しました。

学生時代から今日に至るまでのエピソードをはじめ、会社経営するうえでモットーにしている、「徹底的にお客様視点で考える」、「思いある社員を大事にする」という想い、2024年4月に創立60周年を迎える当社の今後の展望や夢などについて語りました。



番組パーソナリティのお二人と当社社長（中）

番組概要

放送局：文化放送

番組名：木田裕士・唐橋ユミ ジパンクの黄金

東京駅サイネージ広告掲出

J Bグループでは、本社オフィスを置く東京駅構内の2箇所ですでに8月より、デジタルサイネージ広告をスタートしました。多くの利用者が行き交う、東京駅という地の利を活かし、定期的に内容を刷新しながらグループの魅力を発信していきます。

お近くにお立ちよりの際は、ぜひご覧ください。

広告掲出場所

- ・東京駅 八重洲口 地下街「ヤエチカ」全60面
- ・東京駅 八重洲口 1F南北通路 全34面



メイン・アベニュー他、駅構内2箇所に設置



オフィスで働く当社の社員が登場

J Bグループ公式note開設のお知らせ

ソーシャルメディアを活用し、新たな情報発信の場として、J Bグループ公式noteを開設しました。

このnoteでは、J Bグループの中でいきいきと働く社員の姿を中心に、様々な制度など、J Bグループの内側をご紹介します。

「J Bグループってこんな会社なんだ」

「面白いことをやっている・やれそうな会社だな」

「魅力的な人がたくさんいる、いい会社だな」

そう思っただけのような情報を発信していきます。ぜひ、お気に入り登録をお願いいたします。



イノベース

AIの力で日本の中堅・中小企業を元気にしたい！社内起業家への挑戦



社員みんなで参戦！がん治療研究を応援する#deleteC大作戦



内定者～、全員集合！ドキドキワクワク初対面！全国内定者懇親会



入社5年目の挑戦！初めてのファミリーイベントを成功させるまで

note



QRコードもしくは、URLよりご覧ください。
<https://note.jbcchd.co.jp/>



統合報告書発行のお知らせ

当社では、ステークホルダーの皆様へ継続的な成長に向けた取り組みをご理解いただくためのコミュニケーションツールとして、2022年より「統合報告書」を発行しています。

今年度は、2023年12月末発行を予定しています。発行のお知らせや最新のIR情報は、当社ホームページにてご覧いただけます。



QRコードもしくは、URLよりご覧ください。
<https://www.jbcchd.co.jp/ir/news/>



IT企業としての事業を通じたSDGsへの取り組みに加えて、社員一人ひとりが自らできることを実践し、社会に貢献する活動を行っています。

AI技術を活用したWebアプリを開発・無償提供 がん治療研究の寄付につながる「#deleteC大作戦」

“みんなの力で、がんを治せる病気にする”プロジェクト、deleteC（デリート・シー）の活動趣旨に賛同し、今年度も9月2日から30日迄実施された#deleteC大作戦に参画しました。

#deleteC大作戦は、SNSを活用したソーシャルアクションです。賛同企業の商品やロゴの「C」の文字（がん：Cancerの頭文字）を消した画像をSNSに投稿したり、いいね!や動画再生などのアクションをすることで、がん治療研究の寄付・啓発につながります。

JBグループは、多くの方がより気軽にこの活動に参加できるよう、AI（人工知能）が画像内の「C」を検知して自動で消すWebアプリを昨年に続き参加者に無償提供し、多くの方に利用いただきました。

動画で応援

X（旧：Twitter）に投稿した「八重洲オフィス内の“C”を消そう！」動画は、期間中2万5,000回以上再生され、再生回数に応じた寄付につながりました。



deleteC理事の小国氏と投稿用の写真撮影



未来へつなぐアラワイ運河を再び泳げる水質に 「ゲンキ・アラワイ・プロジェクト」

業績やグループの様々な取り組みに貢献した社員が毎年、海外で研修を受ける、「High Performers Club（HPC）」という制度があります。今年は、JBグループ各社のメンバーがハワイを訪れ、現地の文化に触れる様々な体験や歴史を学び、SDGsの取り組みを推進しました。

JBグループの取り組み

JBグループは2022年より、ハワイで水質の低下が深刻化するアラワイ運河を7年かけて、泳げる水質にしよう!という目標を掲げる現地のプロジェクトに参画しています。この活動は、河川浄化の効果が見込まれる、ゲンキボールを運河へ投げ入れることで綺麗で自然豊かな運河とすることを目指しています。

今年も、社員が現地の方たちと一緒にゲンキボール作りを行い、再び綺麗な運河にするという願いを込めて、アラワイ運河に投げ入れました。

今後も、社員自らが活動を通じて他文化、SDGsへの理解を深め、全社をあげて貢献できるよう取り組んでいきます。



ゲンキボール作り



ゲンキボールに願いを込めてアラワイ運河へ

note

当社の活動について、JBグループ公式noteで詳しく紹介しています。社員が制作したHPC現地での様子をまとめたダイジェスト動画もご覧いただけます。



社員一人ひとりにあった働き方Style J

J Bグループでは男女を問わず、自分なりのスタイルで活躍できる環境づくりに取り組んでいます。制度を上手く活用しながらライフステージに合わせてキャリアを築く社員同士、自らの経験やこれからのことなどを語ってもらいました。

育児と向き合う時間のなかで、気づけたこと

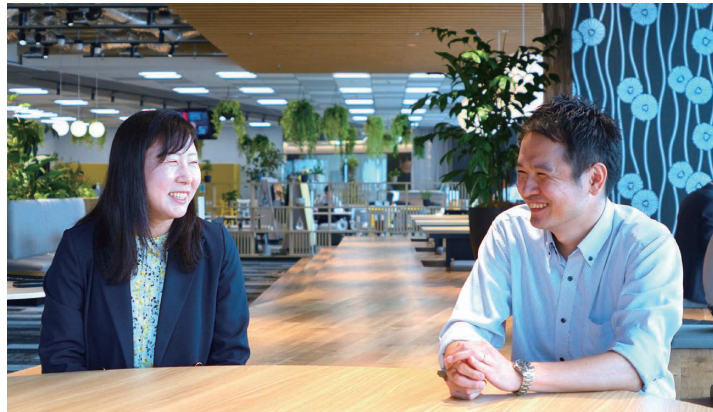
米山 はじめまして。昨年、育休を取得されたのですね。お子さんはおいくつですか？

住友 3歳と1歳の男の子です。2人目が生まれるタイミングで家族と相談し、約1ヶ月の育休を取得しました。ヘルスケア事業部の男性社員で育休を取るのは、私が初めて。前例がなく、周りに迷惑かけないか悩みましたが、思い切って上司に相談したところ、快く受け入れてもらいました。人事制度が整っていて、誰もがあたりまえに利用できる風土もあり、ほんとありがたかったです。

米山 実際のところ、仕事から離れてみてどうでしたか。

住友 朝起きてから寝かしつけまで、私は主に上の子を担当しています。部屋中を走りまわっては壁に鼻をぶつけて青あざを作ったり、時には保育園に向かう玄関先で、急に上着を着ると言い出し、なかなか進まなかったり。思い通りにいかないことのほうが多く、育児の大変さを痛感しました。

米山 私の息子も9歳になりますが、今でも朝は学校の支度から出かけるまで、時間に追われて大変です。そういう意味では同じですね（笑）



米山 雅子 さん（左）
J B C ホールディングス株式会社
執行役員
法務・コンプライアンス担当

住友 秀輔 さん（右）
J B C C 株式会社
ヘルスケア事業部

住友 以前は月～金まで出張、土日家に帰ることも多かったのですが、コロナを機に、お客様とのオンライン会議やテレワークも一気に進み、働き方は一変しました。それぞれの事情に合わせて働き方が選択できるようになったのも大きいですね。育休によって、共働きの奥さんと家事・育児を協力しながら大変さを共有できたこと、周囲の理解や支えもあって仕事でキャリアを築きながら、子供たちに向き合えたことには、感謝しかありません。

人の支えがあったからこそ、今がある

住友 米山さんは子育てしながら、キャリアを築いていらっしゃるんですね。

米山 入社以来、法務部門でキャリアを積み、約1年半の育休を経て、現在はホールディングスの法務・コンプライアンス担当としてグループ全体を見る立場にいます。心掛けていることは、専門性を持った部門メンバーが個々に能力を発揮しつつもチームとして連携し、仕事を上手く回せるようにすること。個々の持つ長所を引き出してあげることです。管理職としての腕の見せ所でもあり、面白さでもありますね。

住友 ここまでの道のりはどうでしたか。

米山 入社してからこれまで、決して順風満帆ではありませんでした。今でこそ女性活躍推進法など、女性も責任ある立場になることを求められる世の中になりましたが、正直、私は管理職を目指そうと考えたこともなかったくらいです。女性の管理職を増やすために、特別な教育が必要とか、制度を作るとかそんな声も耳にします。

ただ、私なりに思うのは、人が頑張ろうと思えるのは周囲の人がいてこの人のために頑張ろうとか、大事にもらったから自分も大事にしようとか、そこが一番重要なかなと。その気持ちが連鎖して人は頑張れるのだと思っています。

自分らしく、働き続けるために

住友 これまでなら、朝早く家を出て夜遅くに帰宅し、寝顔を見る。そんな時代から子供の成長を傍で見守りながら働き続けることができる、これからのスタイルかもしれないですね。タイミングが合えば、ぜひみなさんにも育休おすすめしたいです。

米山 昔ほどしゃかりきに頑張らなくても仕事・プライベートを自然体でどっちも大事にできる時代。価値観も違えば大切に思うことも人それぞれです。上手く制度を活用しながら、自分なりのやりがいを持って働き続けられるといいですね。

Style J

J Bグループは、時間、場所、年齢、組織を問わず、一人ひとりが自律した柔軟な働き方ができることを目指し、ニューノーマル時代の新しい働き方を推進する包括的な人事施策「Style J（スタイル ジェイ）」を導入しています。社内外で活躍できる複業*制度の導入やこれまでの人事施策の統合など、それぞれニーズにあった制度を選択できるようにしています。また、これまで培ったスキルや経験を活かして働きたいという希望と意欲を持つ社員に対し、継続雇用の上限を設けず、やりがいを持って長く働ける環境を提供しています。

※通常「副業」と記載しますが、「正」「副」の区別なく“複”数の働き方を実現することを意図し、「複業」と記載しています。

会社概要 (2023年9月30日現在)

社 名	J B C Cホールディングス株式会社 (JBCC Holdings Inc.)
本 社 所 在 地	〒104-0028 東京都中央区八重洲二丁目2番1号 東京ミッドタウン八重洲 八重洲セントラルタワー13階
設 立 年 月 日	1964年4月1日
資 本 金	47億13百万円
グループ社員数	1,982名 (有期社員を含む連結ベース)
ホ ー ム ペ ー ジ	https://www.jbcchd.co.jp/ir/

SNS

 **X (旧 : Twitter)**
<https://twitter.com/jbcchd>

社長X (旧 : Twitter)
<https://twitter.com/higashiuejbcc1>

 **Facebook**
<https://www.facebook.com/jbcchd>

 **YouTube**
<https://www.youtube.com/jbcchd>

 **note**
<https://note.jbcchd.co.jp/> 

株主メモ

事 業 年 度	4月1日～翌年3月31日
期 末 配 当 金 受領株主確定日	3月31日
中 間 配 当 金 受領株主確定日	9月30日
定 時 株 主 総 会	毎年6月に開催
株主名簿管理人 特 別 □ 座 □ 座 管 理 機 関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 電話 042-204-0303 (通話料有料) 受付時間 9:00～17:00 (土・日・祝日等を除く) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所
公 告 掲 載URL	https://www.jbcchd.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない 事故、その他のやむを得ない事由が生じた 時には、日本経済新聞に公告いたします。)

お知らせ

株券電子化後、配当金の口座振込のご指定は配当金振込指定書を各口座管理機関(証券会社など)を経由してお届けいただくこととなりました。振込指定の詳細なお手続きにつきましては、お取り引きのある口座管理機関にお問い合わせください。

JBCCホールディングス株式会社

決算などの財務情報に関するご質問は
e-mail : ir@jbcc.co.jp

